

様式 7

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成26年10月31日(金) 島根大学本部棟1階第一会議室	
委員	委員長 野田 素三子 (行政書士) 委員 伊木 隆司 (公認会計士・税理士) 委員 福島 薫 (弁護士)	
審議対象期間	平成25年1月1日～平成26年3月31日	
抽出案件(合計)	6件	(備考)
工事(小計)	4件	入札監視委員会要領にのっとり、互選により野田委員が委員長に選出された。 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	1件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
工事希望型競争入札	1件	
通常指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	2件	
公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
標準型プロポーザル方式	1件	
一般競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別 紙

質 問	回 答
<p>1. 国立大学法人島根大学において発注した建設工事について (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 国立大学法人島根大学において発注した設計・コンサルティング業務について (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3. 指名停止等の措置について (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について (委員長より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (施設企画課より工事概要について説明)</p> <p><u>(1) 一般競争入札方式</u> 【(大輪)教育学部附属幼稚園南側テラスその他庇取替】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目の入札で6者中4者が辞退しているが理由は把握しているか。 ・当該工事の参加資格等級はD等級であるがC等級まで拡大している。本来のD等級 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加申請は行っていたが、他の工事等との兼ね合いで、主任技術者等の配置が困難になったためだと思われる。 ・地域条件を島根県及び鳥取県としているが、松江地区の建築工事において松江市以

<p>の業者は何社あり、C等級まで拡大して何社になったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者6者のうち5者がC等級であり、本来の等級であるD等級の業者は1者であるが、大体このような傾向にあるのか。 ・当該工事は附属幼稚園に係る工事であるが、園児等の安全等を考慮し、夏休み中での施工は出来なかったのか。 ・落札率が66.56%と低いとその理由は把握しているか。 ・積算はどの部署で行われているか。また、資材等については見積りを徴取しているのか。 ・見積りは参加業者からは徴取しないのか。 	<p>外からの参加はほとんど無いのが現状である。松江地区においてはD等級が12社、C等級が17社あるので、C等級を加えることにより29社に拡大される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の時期や業者の手持ち工事等にも関係すると思われるので、一概には言えない。 ・安全性を考慮すれば夏休み中の施工がよいと思うが、他の工事等大学全体の工事スケジュールの中で行うので、この時期の施工となった。 ・アルミ製庇の価格が本学の積算価格より低かったためであり、これは長年の取引等により安価に取引できたためだと思われる。 ・本学施設整備課の技術担当者が積算している。また、資材等については、原則複数社から見積りを徴取し、公共建築工事積算基準に基づき積算している。 ・基本的に資材等を専門に扱っている業者から徴取している。
<p>(2) 一般競争入札方式</p>	
<p>【(川津)構内緊急放送設備改修工事】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・施工実績の条件が、スピーカー100個以上の新設又は更新工事となっているが、本工事については何個設置したのか。 ・本工事の参加資格等級はC等級であるが、B等級まで拡大されている。工事全般のこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・約790個の設置である。 ・本来の等級だけでは参加者が僅少である可能性が高い。一級上位若しくは2級上位

<p>ととして参加業者が少ないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工実績は公共工事でなくてはいけないのか。 ・落札率が 80.41%と低いとその理由は把握しているか。 <p>(3) 一般競争入札方式</p> <p>【(医) 基礎研究棟改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札公告の期間は10日～30日とあるが、本工事については10日程度である。参加者数の増加のためにも、長めの公告期間は設定しないのか。 ・総合評価における評価についての判断はどうされているのか。定まったものがあるのか。 ・総合評価審査委員会のメンバーは。 ・2回目の入札で1者が辞退となっているが、これ以上上げられないということで終わりとなったのか。 ・評価については、評価項目を更に細かくし、審査する観点等を定めた評価シートの 	<p>又は1級下位まで拡大することが出来るが、本来の等級の者の参加を考慮し、基本的には一級上位まで拡大している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に限定はしていないが、通常公共工事の施工実績の提出が多い。民間工事でも確認が取れば問題ない。 ・スピーカー、アンプ等の資材の割合が高く、本学の積算より安価に取引できたためだと思われる。 ・全体のスケジュール等の関係もあり、通常10日以上を設定している。 ・評価については、本学の総合評価審査委員の方々が、参加者からの提案書類に基づき評価しており、定まったものがあるわけではない。 ・学識経験者等委員3名、本学施設企画課長、施設整備課長の5名で構成されており、学識経験者等委員については、本学教員の他、米子高専教授及び島根県職員の方に委嘱している。 ・電子入札で行っており、辞退届の提出があったものである。 ・評価シートは定めていない。設計図書に記載されている一般的な提案では評価が低
--	--

<p>ようなものはあるのか。</p> <p>(4) 一般競争入札方式 【(塩冶) R I ・動物実験施設改修機械設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工実績について、10年度以降や15年度以降という条件があるが、何か遡る基準があるのか。 ・入札が不落になった後の随意契約において、契約条件等の変更はあるか。 ・全ての参加者が辞退した場合、辞退した者との随意契約というのはよくあることか。また問題ないのか。 ・本案件は当初の入札公告で参加業者が無く、再度公告をした際に中国5県まで地域条件を緩和しているが、出雲市で管工事のA等級の業者は何社あるのか。 ・第1回目の入札価格と随意契約時の価格とに相当の乖離があるが、工事を施工するに当たり、工事内容等に心配はないか。 <p>(5) 簡易公募型プロポーザル（拡大） 【(川津) 本部棟改修（建築）設計業務】</p>	<p>く、観点としては特に工夫された項目について評価している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省の条件設定を準用しており、原則10年前までとしていたが、近年の状況を踏まえ、15年前まで認めることが望ましいとの文部科学省からの指導により、平成25年7月以降の入札公告より15年前までを対象としている。 ・条件の変更は行っていない。 ・通常、全ての参加者が辞退する前に、それまでの最低価格入札者と不落随契の協議を行うが、稀に全ての参加者が辞退する場合がある。その場合、辞退するまでの最低価格入札者と随意契約の協議を行うことがあるが、協議対象者については、協議するに足る理由があれば問題ないとする。 ・2社である。 ・適正に算出した予定価格の範囲内であり、そのような心配はない。
--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・本件についても参加者が2社と少ないが、工事と同じような理由によるものか。 ・第1回目の見積額と最終的な契約額との乖離が相当あるが、業務内容について問題はないのか。 ・環境配慮型のプロポーザルであるが、特殊な内容になると、それに見合った積算をしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件については、参加資格等級や地域条件の設定があるものではないが、結果的に参加者が少なかったものである。平成25年度においては全国的に設計業務が多かったためではないかと思われる。 ・予定価格については官庁施設の設計業務等積算要領に基づき積算しており適正に算出している。また、技術提案に基づき業者を選定しており、見積価格によって仕様が変わるものでもないので、業務内容が粗悪になる等の心配はない。 ・仕様内容によって、それに応じた積算を行っている。
<p>(6) 一般競争入札方式</p>	
<p>【(川津) 学生食堂その他耐震診断業務】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断は社会的にも注目されている業務であるが、島根大学での耐震診断の状況はどのようになっているか。 ・本案件は述べ4,786㎡の耐震診断であるが、何棟の建物を実施しているのか。 ・低入札の業者に、施工監理等についてのペナルティが課せられることはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省の指導に基づき、3階建て1,000㎡以上の建物については全て終了しているが、小規模建物については未実施のものもある。 ・合計9棟の耐震診断を行っている。 ・特にない。